



ホームページは 八重瀬町社会福祉協議会

検索

クリック!



## 令和元年度「4小学校区合同支え合い委員会連絡会 並びに社会的孤立対策モデル事業実践報告会」の開催

去る7月9日(火)に町中央公民館で令和元年度「4小学校区合同支え合い委員会連絡会並びに社会的孤立対策モデル事業実践報告会」を開催しました。本事業は、住民一人一人が地域の中で生き生きと、安心して暮らしていくために地域住民自ら身近な生活課題に取り組み、お互いに支え合う地域共生社会の実現を目指し実施しています。

本連絡会では社協職員であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW:地域の相談員)や各地域の現況、事業紹介等を紹介した後に社会的孤立対策モデル事業、第1期モデル地区の中から友寄第一団地・安里・富盛・世名城(防災モデル地区)の4地区が実践報告を行いました。それぞれ地域の特色が出ており、友寄第一団地自治会では「支え合い委員会の取り組みとして相談窓口の持ち方や地域の見守りについて」、安里地区では「認知症になっても住み慣れた地域でいつまでも暮らせる地域づくりについて」、富盛地区では「夏休みの子ども達の居場所作りについて」、世名城地区は「体験型防災避難訓練などの孤立解消に向けた地域の取り組み状況」を報告しました。

当日は各字・自治会の支え合い委員など105名の参加がありました。第1期モデル地区の報告を参考に、今年度新たに第2期のモデル地区を募集しております。モデル地区になった地域では、これから公民館・集会所にて地域相談窓口の開設や地域の特性に応じた事業を展開、各種研修会への参加を予定しています。

本会では、「地域力の向上」を目指して今後も地域住民の皆さんと一緒に地域福祉を推進します。



支え合い委員委嘱状交付(代表 具志堅区長 久保氏)



実践報告者4名



# 令和元年度 赤い羽根共同募金運動がはじまります！

今年も、令和元年10月1日～令和2年3月31日まで「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されます。皆様からお寄せいただいた多くの寄付金は、皆様が住んでいる八重瀬町の様々な地域福祉活動に役立てられます。

## 今年度の目標額 5,345,000円



### 赤い羽根

【赤い羽根共同募金】  
1947年（昭和22年）に始まった歴史を誇る格のある全国的な募金運動です。毎年10月1日～翌年3月31日までの6ヵ月間実施されます。

誰かの役に立ちたくて、募金をしたら、じぶんの町の役に立っていった。赤い羽根は自分たちも感謝する募金でもあります。

### 今年度の目安額

- 世帯…………… 500円
- 職域(管理職)…… 1,000円以上  
(一般)…… 500円以上
- 個人大口…………… 5,000円以上
- 法人…………… 10,000円以上

### じぶんの町

【じぶんの町を良くする活動】  
集まったお金は、募金されたその地域で使われます。つまり「じぶんの町を良くする活動」のために使われているのです。みなさんの町での使いみちはデータベース「はなっこ」で調べられます。

### わたし

【その町に住む私】  
あなたの募金が、じぶんの町を住みやすい町にしています。あなたの近くで困っていた人を笑顔にしてくれます。そのうれしい気持ちがまた赤い羽根につながっていく。うれしい大きな輪が広がります。



## 昨年度は、このように使われました！

昨年度実績……………7,634,541円

### 配分内訳

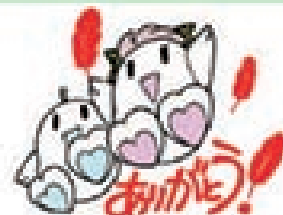
- ・県内の福祉施設や団体等へ……………1,481,000円
- ・八重瀬町内の地域福祉活動へ………6,153,541円

### ●地域コミュニティネットワーク事業として（各字・自治会にて）

三世代交流手芸教室、ハチウクシー、誕生日おめでとう会、敬老会、グラウンドゴルフ大会、区民運動会、パークゴルフ大会、夕涼み会、区民懇親会、自治会盆踊り、環境整備…等

### ●社協事業として

ボランティア福祉団体育成助成、高齢者生きがいづくり、配食サービス、子どもの居場所づくり…等



事務局

沖縄県共同募金会八重瀬町共同募金委員会 社会福祉法人八重瀬町社会福祉協議会  
八重瀬町字東風平1318番地1 (同社会福祉会館内) TEL: 998-4000 (担当: 島)

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

## 社会的孤立対策モデル事業の取り組み（富盛地区）

富盛地区では、去る7月22日（月）～8月26日（月）まで（全7回）支え合い委員会やボランティアを中心に公民館にて「夏休み子どもたちの居場所作り」が開催されました。この活動は、平成30年度に富盛地区が本会より八重瀬町社協社会的孤立対策モデル事業の第1期モデル地区として指定を受けて開始した取り組みで、今年で2年目を迎えます。

対象は、小学校1年生～6年生で参加児童は多い日で40名ほどが集まりました。運営は、約20名のボランティアが交代制で子どもたちに学習支援及び読み聞かせ、音遊びを通して居場所づくりを提供しています。最終日は、お楽しみ会でかき氷や流しそめん、近隣の保育園児との交流を行いました。

次世代を担う子どもたちは、「地域の宝」です。地域で子育て支援、助け合い・支え合いを目指して、今後も富盛地区の取り組みを期待しています。



### 参加者の声

- みんなで夏休みの宿題が出来るので楽しい。
- 今年からの参加で、去年もやっていることが分かったら参加したかった～。



## 社会的孤立対策モデル事業の取り組み（県宮外間団地）

県宮外間団地では、去る7月25日（木）と8月1日（木）に夏休み企画として小・中学生を対象に集会所にて、「書道教室」と「エコクラフトづくり」を開催しました。県宮外間団地は、平成30年度に本会より社会的孤立対策モデル事業の第1期モデル地区として指定を受け、今年度も継続して活動しています。



今回の企画は初めての取り組みで、支え合い委員より集会所を活用し子ども達の居場所づくりや地域のつながりを強くしたいとの声で始まりました。書道教室、エコクラフトづくり終了後は、子ども達自ら作ったおにぎりや味噌汁、カレーライスを昼食としてみんなで頂きました。また、民生委員と子ども達で団地に住む一人暮らしの高齢男性の自宅を訪問し、見守りや顔の見える関係を築くことを目的に昼食を配食しました。子ども達の訪問や自治会の取り組みに感謝し、涙ぐむ男性もいました。

### 参加者の声

- みんなでおいしいご飯を食べて楽しかった。習字は夏休みの宿題として学校に持って行きたい。
- エコクラフトは初めてやった。カレーライスはおかわりをするぐらい美味しかった。



## 島尻消防組合消防本部職員による「旧盆お掃除ボランティア活動」の実施

去る7月26日（金）に島尻消防組合消防本部の職員による旧盆お掃除ボランティア活動が実施されました。この活動は、在宅の障害者世帯や高齢者世帯、自力で草刈り作業が行えない方等を対象に島尻消防組合の社会貢献活動の一環として毎年行われています。

今回は、支え合い委員会や民生委員を通して対象者を募り、町内3世帯を実施しました。当日は、延べ30名を超える島尻消防組合職員ボランティアの他に、地域から区長・自治会長、民生委員、本会職員が協働で行いました。

対象者から「誰にもお願いできずに困っていた。皆さんには、感謝しきれないほどの思いです。」「消防の方、地域の方、多くの人に協力頂きありがとうございます。」等、感謝の声がありました。

島尻消防組合消防本部職員の皆さん、ご協力頂きました地域の方々、ありがとうございました。



## 2019年度 ボランティア活動推進校（園）指定書交付式並びに連絡会を開催しました。

去る6月28日（金）に「2019年度ボランティア活動推進校（園）指定書交付式並びに連絡会」を開催しました。今年度は保育園15ヶ所、幼稚園4ヶ所、小学校4校、中学校2校、高等学校2校の全27校（園）がボランティア活動推進校（園）に指定されました。

ボランティア活動推進校（園）指定事業は、将来の八重瀬町を担う園児・児童・生徒を対象にボランティア活動や体験学習の機会を提供することにより、園児・児童・生徒の自発性や社会性が育まれていくことを目指し、共に生きる住み良い福祉のまちづくりの実現を目的として実施しています。指定された学校・園には、実施要項に応じてボランティア活動等の費用として助成金を交付しています。



## 令和元年度「八重瀬町手話奉仕員養成講座（入門編）」がスタートしました。



去る6月4日（火）から、令和元年度「八重瀬町手話奉仕員養成講座（入門編）」（全30回）がスタートしました。

本講座は、手話で日常会話を行うために必要な手話語彙及び手話表現技術を習得した手話奉仕員の養成をおこない、聴覚障がい者の社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を図るとともに地域福祉の増進に役立てることを目的に実施しています。

ろう講師（我喜屋 健氏）、聴講師（糸山 夕紀子氏）を講師に迎え、15名の受講生とともに講座がスタートしました。手話の魅力を感じながら全30回の講座を乗り切りたいと思います。



## 音訳サークルやえせが2019年度「タイムスふれあい事業」助成金の交付を受けました。

去る7月12日（金）、沖縄タイムス社にて音訳サークルやえせが2019年度「タイムスふれあい事業」助成金贈呈式に参加しました。

「タイムスふれあい事業」とは、沖縄タイムス社が2004年度から地域貢献・地域支援を目的に実施しており、備品や設備などの整備を予定する県内の小規模福祉施設や福祉団体を対象に助成する事業です。

今年度は音訳サークルやえせを含む5施設・団体へ助成が決定。音訳室は、部屋の構造上エアコンの設置が難しく、夏は暑い中、音訳活動を行ってきました。今回の助成金で冷暖房を購入し、より快適に音訳活動を実施できるようになりました。



## ～障害者「習字教室」（全7回）がスタートしました～

本会では、去る8月7日（水）から全7回コースで障害者「習字教室」が開講しました。本教室は、近年、パソコンの普及やデジタル化の進行に伴い、「文字を書く」機会が減少傾向にある中、「習字教室」を開催し、字を習うことを基本に正しい筆順でお手本通り書く、バランスよく整った字を書くことを学び、書き文字の力強さや魅力等、「書く」ことから期待される集中力・忍耐力・礼儀作法など様々な効果の習得を目指します。今回、約15名の方が参加しています。

講師は、書道師範の赤嶺利枝子氏が担当します。講座では、前半は基本の線の練習、後半は表装づくりやハンコづくりを行います。そして、最終的には講師の想いから「日々の暮らしで身に付け、いつでも心に残るような作品を」と、一人一人の習字筆、ハンコを押したTシャツづくりを予定しています。

### 受講生の声

「目が見えないから不安～」  
「習字は初めて、私にもできるかな……」  
「習字教室の開催をずっと希望していました」

最終的にどんな作品ができるのか仕上がりが楽しみです。受講生の皆さん作品展への出展を目指して、最後まで楽しく頑張りましょう。



## 令和元年度「小学生ボランティア研修会」の開催

去る8月8日(木)に令和元年度「小学生ボランティア研修会」を開催しました。本研修会は、聴覚障がい者の生活やコミュニケーションについての基礎知識を学ぶことで、聴覚障がい者についての理解を深め、社会全体で支えあう福祉のまちづくりの実現とボランティア活動への理解と関心を深めることを目的に実施しました。また、手話サークル「フラワーハンド」と手話サークル「つねぶき会」の皆さんにもご協力頂き、実際に手話を学ぶことや手話ダンスの披露をしてもらいました。

当日は、市内の4小学校の児童、先生、手話サークル会員など全50名の参加がありました。

### 児童の感想

☆自分の名前を手話で表現できてうれしかった。

☆ボランティアは人の為だけではなく自分の為にもなる。自分にできることからおこないたい。



## 令和元年度「中高校生ボランティア研修会」の開催

去る8月21日(水)に令和元年度「中高校生ボランティア研修会」を開催しました。本研修会は、障がい者福祉について学ぶとともに、車いすサッカー(ユニバーサルスポーツ)体験を通して、さまざまな人と出会い関わることで理解と関心を深め、共に生きる住みよい福祉のまちづくりの実現を自指すことを目的に実施しました。講師に新屋透久氏(沖縄手動車いすサッカークラブabout代表)を招き講話「ユニバーサルスポーツと出会って」と「車いすサッカー体験」を行いました。当日は、市内の中学校・高等学校の生徒、先生を含め18名の参加がありました。

### 生徒の感想

☆講話では聴覚障がい者・聴覚障がい者などそれぞれに不便なことがあって、実際に身近にいないので深く考える機会ができてよかった。

☆車いすの人は少しの段差でも大変で、まだまだ障がいの人への理解が少ないと思いました。

☆車いすサッカーは、障がい者だけで楽しむものだと思っていたけど、障がいのない人だってみんなで楽しむために作られていると分かった。もっと社会にユニバーサルスポーツを作って行けるといいと思った。



### 事務局より

本会では、次世代を担う児童・生徒が福祉について学ぶことで「思いやりの心」を育むことや地域共生社会の実現をを目標し、学校・地域・団体等と協働して福祉教育の推進に努めていきたいと思ひます。

## 令和元年度 社協職員総合訓練を実施しました。

去る7月31日(水) 町社会福祉会館にて総合訓練(避難誘導・通報訓練・消火訓練)を皇民消防組合消防本部と協働し実施しました。会館利用者の安全確保と災害発生時の被災規模を最小限に止めることを目的とし、地震発生による火災を想定しました。今年度も、社協の生きがいダイサービス利用者の方も一緒に、水消火器を使って消火訓練を行いました。火災発生時等の「自助」について質問を交えて消防職員からご指導頂き、生きがいダイサービス利用者からも訓練の大切さをあらためて感じたとの声がありました。



## 令和元年度「夏休み企画・親子消防署見学ツアー」

去る8月9日(金)に「夏休み企画・親子消防署見学ツアー」を開催し、町内在住の親子9世帯(24名)が参加しました。自然災害において被害を最小限に抑えるためには、日頃から災害へ備えることが重要です。また、災害時に最も重要なことは「自助・共助・公助」であり、常日頃から隣近所との関わりや防災に備える情報収集をどのように行い防災力を高めるか家庭で考え備える必要があります。

そこで緊急時や災害時、家族間でどのように災害から身を守ることができるか消防署の見学・体験を通して自然災害の怖さや大切な人を守るために何ができるかを考え「命」の尊さを学び防災意識の向上に努めます。

【内容】●消防署施設見学 ●消防車両説明 ●応急手当講習会 など

### 参加者のアンケートの声

- ・消防署にある車両の働きや特徴を知ったり、機械や道具の使い方を実践し見て学んだりできた。
- ・救命救急の知識がついた。救急車が好きなので知ることが出来て良かった。
- ・消防士や救急車両を見てカッコよかった。
- ・勉強になりました、また来たいです。 など

### 事務局より

大切な人を守るために何ができるのかを考え「命」の尊さを学ぶことが出来たでしょうか？私たちの周りには、多くの人々が生活しています。一人ひとりが防災・減災について学ぶことでイザというときに自分自身や家族を守ることに繋がります。この体験を通して各家庭で「自助・共助・公助」について考える機会になればと思います。ツアーに参加されたみなさん、ご協力いただいた消防職員の方ありがとうございました。



## 令和元年度「住宅用火災警報器の配布について」

皇民消防組合消防本部(沖縄県消防設備協会)より、住宅用火災警報器の設置率向上への取り組みとして、機器の配布に併い贈呈式が行われました。皇民消防からの協力依頼により本会は配布及び設置取り付け世帯への選別を行い、高齢者や独居、障がい等の理由で火災時の避難が困難である世帯へ優先的に住宅用火災警報器を配布することになりました。



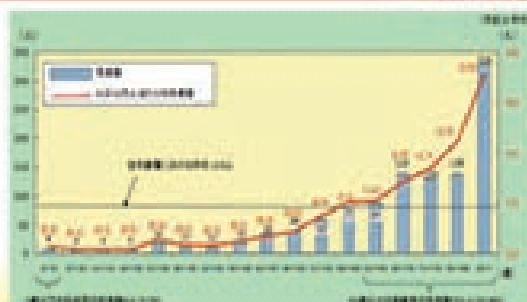
住宅用火災警報器を設置している場合は、設置していない場合に比べ、死者の発生は2/3、焼傷床面積、焼失額も概ね半減していると、消防庁より発表されています。住宅用火災警報器設置率は義務化されています。ご自身の住宅用火災警報器の設置有無をご確認ください。すでに設置されている世帯は、電池の確認をお願い致します。

八重瀬町社会福祉協議会防災担当より

### 高齢者の死者が755人で67.8%

死者数(放火自殺者等を除く。)を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者が67.8%を占めており、特に81歳以上が多くなっている。

年齢階層別の人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く。)は、年齢が高くなるに従って著しく増加しており、特に81歳以上の階層が、全年齢層における平均の4.0倍となっている。(平成29年 消防白書より)



## 令和元年度「郡上市・南城市・南風原町・八重瀬町ファミリーサポートセンター合同スキルアップ講座」が開催されました。

本会では、去る7月12日にサポート会員を対象に令和元年度「郡上市・南城市・南風原町・八重瀬町ファミリーサポートセンター合同スキルアップ講座」を八重瀬町中央公民館で開催しました。

合同講座は、ファミリーサポートセンター事業を社会福祉協議会が担う4市町が主催となって開催されたもので初めての取り組みとなりました。

当日は、講師に一般社団法人たっくたっく代表理事の伊波 就子氏をお迎えし、「活動中のヒヤリハット等について～子育てに係るリスクマネジメント～」と題して講話やワークショップ等を行いました。参加されたサポート会員さんからは、「先生のお話しを聞き、すごく意識が変わった。」「活動中は、常に危機意識を持つことが大事だと改めて感じた。」等の声が多くありました。

ファミリーサポートセンターとして今後もサポート会員さんが安心・安全なサポート活動が出来るよう講座等を実施していきたいと思っております。参加していただきました会員の皆さんありがとうございました。



9月より  
増えました♪

## ファミリーサポートセンター預かり場所について (お知らせ)

今まで、お子さんの預かり先は、原則としてサポート会員さん(育児の援助を行いたい人)の自宅となっていたのですが、国の実施要綱改正に伴い9月より預かり先が下記の場所となりましたので、お知らせ致します。

また、会員も募集していますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

**※ファミリー会員(育児の援助を受けたい人)、サポート会員(育児の援助を行いたい人)どちらも事前に会員登録が必要となります。**

### ◀子どもの預かり場所▶

改正前

- サポート会員の自宅



改正後

- サポート会員の自宅
- 児童館
- 地域子育て支援拠点施設(子育て支援センターびっぴ等)
- その他、子どもの安全が確保できる場所



**【ファミリーサポートセンターとは??】**  
 育児の援助を受けたい人と育児の援助を行いたい人が会員となって、地域の輪によって子育てを助け合う有償ボランティア活動です。子どもを預ける、預かるという活動だけではなく、交流会やスキルアップ研修会を通して、会員同士の交流を深める活動も行っています。

お問い合わせ 八重瀬町社会福祉協議会 八重瀬町ファミリーサポートセンター  
 TEL 098-998-4000 (担当：仲村・長田・新垣)



# 平成30年度 事業実績報告書

## 1. 会務の運営

- 1) 評議員会の開催 (5回)
- 2) 評議員会の開催 (5回)
- 3) 評議員会付・執行委員会の開催 (2回)
- 4) 常任幹事会  
対象者：福祉サービス利用者、一般市民・寄付件数0件
- 5) 会計監査・事業監査の実施 (2回)
- 6) 監事会委員の開催 (12回)
- 7) 監事会の開催 (12回)

## 2. 役員(理事・監事)評議員並びに職員研修会開催状況

- 1) 役員、評議員、職員研修  
○平成30年度役員(理事・監事)評議員並びに職員研修会
- 2) 職員研修  
○ビジネスマナー ○職員向け社会生活講座

## 3. 財源確保の取り組み

- 1) 社会貢献(会費) 福祉促進事業(本年度実施する福祉事業主に活用)  
実績額：4,765,053円 (対前年比37.30%増)
- 2) 赤い羽根共同募金運動(本年度実施する福祉事業主に活用)  
実績額：7,634,541円 (達成率：143.2%)

## 4. 選挙活動に関すること

○八重瀬町区民自治会委員会・社会福祉職員福祉文化会への応援  
参加者：合計53名(区民・自治会長、理事、職員、役員)

## 5. 高齢者福祉に関すること

- 1) 高齢者の生きがいと健康づくり事業(公民館・集会所：要介護者)  
実施年・自治会：30ヶ所 開催回数：360回  
利用者7,248名(利用者7,114名、ボランティア134名)  
ボランティア登録人数：332名
- 2) いせのいきサロンの開催(公民館・集会所)  
実施年・自治会：13ヶ所 マロン開催回数：137回 利用者2,632名
- 3) いせのいき活動支援講座事業(社会福祉会館内：要介護者)  
開催回数230回 利用者数2,788名 利用者登録人数93名(教員登録者35名)
- 4) エニデイサービスボランティア連絡会  
①エニデイサービス代表者連絡会の開催(2回)  
②エニデイサービスボランティア研修会の開催  
③エニデイサービスボランティア交流会の開催
- 5) 認知症生活支援事業：「認知サービス」(要介護者)  
(黒毛配食数：5,402食) (赤毛配食数：4,748食)
- 6) 認知サービスボランティア連絡会の開催(6回)
- 7) 認知サービスボランティアへの研修  
①認知サービスボランティア研修会の開催  
②認知サービスボランティア交流会の開催
- 8) やえせ高齢者学園の開催(5回)

## 6. 障害者福祉に関すること

○障害者社会参加促進事業(要介護者)  
①「ボウリング教室」 ②「エクササイズ教室」  
③「字学教室」 ④「Zoo交流会」～30名参加教室～  
⑤「料理教室」 ⑥「第2回交流会」～30名参加教室～  
○手話専任員養成講座(要介護者)  
①手話専任員養成講座(要介護者)の開催：全30回(10名終了)

## 7. 子育て支援に関する事業

- 1) ファミリーサポートセンター事業(要介護者)  
登録会員数：450名(ファミリー会員：339名 サポート会員：81名  
どっちも会員：30名)  
活動件数：608件
- 2) 子育て支援に向けた企画・開催  
講座会場(11回)、家庭児童相談員(11回)、家庭児童相談員・保護師等  
行自治体間(9回)、ケース会議会(3回)、要介護児童社会福祉協議会(1  
回)、関係機関・施設(子ども発達支援センター「コソイク」・町内保育  
所・放課後等デイサービス)、チャイルドシート着用・貸出数：(139件)
- 3) 会員向け研修会等の開催  
①平成30年度ファミリーサポートセンタースキルアップ講座  
②平成30年度子育てサポート会員養成講座(5日間)  
③平成30年度ファミリーサポート交流会＆ヨガ  
④平成30年度ファミリーサポートセンター会員交流会
- 4) 広報活動活動  
①町内小学校朝のあいさつ運動会

- ⑤平成30年度町内の健康・小学校ファミリーサポート委員会(8ヶ所)
- ⑥匿名制自由会様製法作文講座(要介護者)
- 5) 沖縄県ファミリーサポートセンター連絡会活動  
①総会 ②アドバイザー連絡委員会(2回)  
③役員会(6回) ④事務局会議  
6) 子育て講座会・研修会への参加  
「積極的にわからない子育て」講座  
「子どもと暮らすお母さんの定年～0歳予防のためのプログラム～」  
「リスタートプロジェクトセミナー」  
「沖縄県ファミリーサポートセンター研修会」(4回)
- 7) ファミリーサポートセンター利用者の地域貢献(要介護者)

## 8. 子どもの貧困対策に関する事業

- 1) 八重瀬町子どもの貧困対策協議会への出席  
○平成30年度関係機関と連携し子どもの貧困対策へまいだ件数 7世帯13人  
(児童福祉課2人、教育相談コーディネーター1世帯1人、小中学校1世帯1人、  
地域2世帯7人、他1世帯2人)  
○子供の貧困等へ関心を示した児童・生徒の数：14人  
○その他アウトリーチ支援をしている件数：2世帯2人
- 2) 支援に向けた企画・開催  
沖縄県支援員コーディネーター8回、教育相談コーディネーター26回、家  
庭児童相談員43回、東風平小学校支援協議会1回、東風平中学校支援協議会9回、  
真志穂小学校支援協議会2回、要介護児童地域協議会4回、わらびんチャー  
ム、自治体間交流9回
- 3) 子ども食堂数増加補助申請活動：5回
- 4) 子どもの居場所づくり運営事業  
○シーちゃんキッズ食堂の開設(子どもの居場所)  
開所日数：136日、延べ利用者：203人(小学生40人、中学生47人)  
ボランティア総べ人数：115人、学童支援164回(445人)  
生活指導40回(結果指導14回、実地指導等17回、その他86回)
- 5) 法人協賛と連携して取り組む社会福祉活動  
※毎月2回(第2、第4月曜日)に特別支援科から発達児童等へおにぎりの提供

## 9. 自立支援に関すること

- 1) 生活福祉資金貸付事業  
相談件数533件 貸付件数0件  
総合支援資金15件 緊急小口資金19件 福祉資金16件 教育支援資金11件  
不労資金助成型4件 臨時付付つなぎ資金2件 償還0件 返済なし：308件
- 2) 生活福祉資金貸付準備の開催(3回)  
西原町福祉ひびき相談会：5月16日(水) 開催回数：9件  
早稲穂福祉センター：5月17日(木) 開催回数：4件  
赤毛協会の償還指導実施：7月19日(水) 開催回数：15件  
償還完了件数：2件
- 3) 生活福祉資金貸付事業  
相談申請件数：0件 相談実行件数：0件 償還指導：3件 償還中：2件  
償還完了：1件

## 10. 相談機能に関すること

○ふれあいプラザ相談室の開設(ふれあいのまろづくり事業)  
相談所開設244回 専門相談：心の相談(48回) 行政相談(112回)  
法律相談(24回) 相談件数1,145件

## 11. 生活困窮状態等への支援

○救世のすけあい運動の実施  
実績額：1,402,311円  
○救世金の支給1,112,000円 ○各種事業の実施：174,000円  
○その他166,311円

## 12. 権利擁護に関すること

○日常生活自立支援事業(要介護者)  
利用登録者数2名(権利擁護1名4名、知的障害1名4名) 支援回数：194回

## 13. 見守り支援に関すること

○要介護者見守りネットワーク事業(要介護者)  
①研修回数(23件)  
②配食サービス事業を通じての見守り件数(10,150件)  
③配食調理準備キット配布及び見守り中継器貸付(172件)  
④配食調理準備キット設置状況(3月末現在200件)  
⑤配食調理準備キット見守り活動  
⑥配食サービスボランティア連絡会：合計6回、参加人数：72名  
⑦エニデイサービス・サロン配食調理準備キットの提供  
合計6回 参加：158名

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。

14. ボランティアセンター事業に関すること

- 1) ボランティア活動推進校 (画) 推進委員会形式並びに連絡会
- 2) ボランティア研究会・講座の開催
  - 小学生ボランティア研究会：参加者45名
  - 中・高校生ボランティア研究会：参加者31名
  - 各校ボランティア実行講座の開催：(全3区：19名終了)
  - 手話サークルフラワーバンド会員向け手話講座：全2区
- 3) 小学校区連手話 (クラブ活動) 協定事業
  - 町内4小学校 (東風平小・白川小・具志部小・新城小) 全8回
- 4) 24時間テレビ41「愛は地球を救う」街頭募金活動の実施
  - 場所：マックスパルム八重瀬店、サンエー八重瀬シティ 参加：83名
- 5) ボランティア、サークルとの連携
  - 音訳サークル今とせ ○手話サークルフラワーバンド
  - 音訳サークル今とせ「創立25周年記念祝賀会」並びに「県知事賞受賞報告会」
  - 手話ボランティア養成講座と音訳サークル会員交流会

15. 防災に関する事業 (セーフティネットワーク事業・防災事業)

- 1) 平成30年度社会福祉施設避難訓練
- 2) 平成30年度防災講習 - 災害・応急手当 -
- 3) 平成30年度防災意識啓発活動
  - 白川小学校 (14回) ○東風平中学校 (7回)
  - 具志部中学校 (5回) ○町内保育園 (2回)
- 4) 平成30年度実践企画「親子防災講座＆防災ウォーク」
  - 参加者：9世帯 (親子21名)、八重瀬町赤十字奉仕団7名、赤十字会東風平分団1名
- 5) 平成30年度手話サークルフラワーバンド区連手話講習会
  - 開催日：平成31年2月23日 (木) 参加者23名
  - 応急手当講習会開催の賛同会 ○応急手当講習会振り返り
- 6) 平成30年度「世帯自治会体験型防災訓練」の開催
  - 東風平町東部モデル地区試行会交付
  - 平成30年度「世帯自治会体験型防災訓練」
    - 実践を活用し実践を学ぶという開催
  - 世帯自治会体験型防災訓練に向けての調査会議 (7回)
  - 世帯自治会体験型防災訓練の振り返り
- 7) 平成30年度「第一世帯自治会防災講習会」の開催
  - 防災講習会調査会議 ○アンケート調査 ○防災講習会のまとめ報告
- 8) 研修会や講演会等への参加
  - 世帯自治会サービスボランティア連絡会
  - 福祉配法サービスボランティア連絡会
  - 東風平配法サービスボランティア連絡会
  - 小笠配法サービスボランティア連絡会
  - 具志部配法サービスボランティア連絡会
  - 平成30年度災害時外国人リポーター養成講座
  - 平成30年度災害時相互応援協定に基づく市町村社協会長・事務局長連絡会
  - 平成30年度災害時避難時の準備どうしますか?
  - 平成30年度災害時避難所体験講座/災害時避難所運営訓練
  - 平成30年度災害ボランティアセンター応援員養成研修会
  - 平成30年度地域方向上研修会並びに第1期モデル地区連絡会

16. 広報活動に関すること

- 1) やえせ社協だよりの発行
  - 発行回数：全4回(7月(49号))、(7月(47号))、(1月(48号))、(3月(49号))
- 2) ホームページの情報更新 閲覧回数34,371件

17. 第2次八重瀬町地域福祉 (活動) 計画評価業務

○第2次八重瀬町地域福祉 (活動) 計画評価委員会の開催

18. 県社協並びに他市町村社協等からの依頼への対応

- 平成30年度さいごな共同調査依頼書の発行 (沖縄県共同調査会より依頼)
- 平成30年度東風平社協職員研修会(ビジネスマナー編) (郡家市社協より依頼)
- 「市町村地域福祉 (活動) 計画」推進研究協議会 (沖縄県社協より依頼)
- 南部地区市町村社協実務研修会 (社会的孤立対策モデル地区社協推進員及役員研修)
- 沖大「民間実用演習Ⅱ」合同ビジネスキャリアガイダンス (沖縄大学より依頼)

19. CSW 4小学校区に関すること

- 1) 4小学校区支え合い委員会連絡会について
  - 新城小学校区 (モデル地区：新城、東洋決定)
  - 白川小学校区 (モデル地区：支那第一世帯自治会、海部外間世帯自治会決定)
  - 具志部小学校 (モデル地区：具志部、安来、伴高決定)
  - 東風平小学校区 (モデル地区：宮城、飯沼早苗決定)
- 2) 地域コミュニティネットワーク事業活動促進会について
  - 東風平小学校区 合計：515,000円 ○白川小学校区 合計：612,000円
  - 具志部小学校 合計：409,500円 ○新城小学校区 合計：150,000円
- 3) 学習・自治会活動に関する個別支援・ケース会議状況 (モデル地区以外)
  - 東風平小学校区 (開始5件、継続支援5件)
  - 白川小学校区 (開始6件、継続支援9件、経過観察4件)

- 具志部小学校区 (継続支援8件)
- 新城小学校区は継続にて報告
- 4) 4小学校区間の報告学習への協力
  - 具志部小学校 (2回) ○白川小学校 (1回) ○新城小学校 (1回)

20. 社会的孤立対策モデル事業 (総括)

- 1) 主催した研修会・連絡会開催状況
  - 4小学校区支え合い委員会連絡会 (西側) の開催 (各小学校区1回)
    - 参加者：計83名
  - 支え合い委員会モデル地区実行方式並びに地域窓口相談員研修会 (各小学校区モデル) 計30名
  - 地域方向上研修会並びに第1期モデル地区連絡会参加者：計78名
- 2) モデル地区活動促進交付 (270,000円) 9ヵ所
- 3) モデル地区支え合い委員会の開催状況
  - 東風平小学校区
    - 運営支え合い委員会の開催日(1回) ○運営部地域支え合い委員会から開催(6回)
  - 白川小学校区
    - 第一世帯支え合い委員会の開催(4回) ○東風平町世帯支え合い委員会(6回)
  - 具志部小学校区
    - 支え合い委員会の開催(2回) ○具志部支え合い委員会(6回)
  - 新城小学校区
    - 新城支え合い委員会(5回) ○東風平支え合い委員会(3回)
- 4) モデル地区地域福祉窓口での相談対応
  - 東風平地域福祉窓口0件 ○東風平町地域福祉相談室0件
  - 第一世帯地域福祉窓口0件 (期間：14件) ○外間世帯地域福祉相談16件
  - 安来地域福祉相談2件 ○具志部地域福祉相談0件
  - 新城地域福祉相談0件 ○東風平地域福祉相談3件
- 5) モデル地区における個別支援・ケース会議状況 (CSW対応)
  - 東風平小学校区 (開始1件) 白川小学校区 (開始2件、継続1件)
  - 具志部小学校区 (開始1件、継続4件) 新城小学校区 (開始4件、継続2件)
- 6) 学・自治会と協働で取り組んだ事業
  - 世帯自治会体験型防災訓練 ○支那第一世帯防災講習
- 7) 連絡会、情報交換会、調整会議等への参加状況
  - 社会的孤立対策モデル事業関係
    - 第1期社会的孤立対策モデル決定協議連絡会
    - 研修内部の社会的孤立対策モデル事業推進会議
    - 西風平社協社会的孤立対策モデル事業推進者との情報交換会
    - 東風平町社協社会的孤立対策モデル事業推進者との情報交換会
    - 沖縄県社協社会的孤立対策モデル事業推進者との調整
    - 沖縄県社協社会的孤立対策モデル事業推進者・事業推進者との調整
    - 九州ブロック地域福祉研究会
    - 支え合い地域づくりを考える協議会
    - 第7回なまじん結ネットワーク連絡会
    - 県社協職員による巡回訪問
    - 第1期にしほろ地域福祉実務シンポジウム
    - 県社協職員による巡回訪問(社会的孤立対策モデル事業推進者向け)
    - コミュニティソーシャルワーク実務セミナー
    - 全県校区・小地域福祉活動サミット出席中
    - コミュニティソーシャルワーク研修
    - 社会的孤立対策モデル事業第2回運営連絡協議会
    - 災害ボランティアセンター支援員養成研修会
    - 県社協地域福祉研究会
    - 社会福祉法人の公益的取り組み「相談対応職員研修会」
    - 西風平社協社会的孤立対策モデル事業推進者報告会
    - 県社協推進者との調整
    - CSW調整会議、社協推進連絡会 (5回)
    - 関係協社会福祉協議との調整
    - その他の研修会参加 おきなわ地域福祉研究会

21. 八重瀬町社会福祉社会福祉指定管理受託事業

集金室(7,400名)、研修室(1,600名)、いこいの館(50名)、調理室(1,000名)、ボランティア室 (1,211名)、和室 (2,044名)、いこいの活動広場室 (2,700名) 合計 (14,370名)

22. 福祉機器 (用具) 買出事業

車いす (100回)、ベッド (8回)、ポータブルトイレ (5名調査)

23. 実習生の受け入れ

- 2019年度沖縄大学 実習担当者連絡会へ参加
- 実習生事前訪問
- 実習生受け入れ
  - 沖縄大学3年度期間：(全24日間)
  - 沖縄大学3年度期間：(全8日間)
  - 沖縄大学2年度期間：(2日間)
  - 沖縄大学3年度期間：(2日間)
  - 社会福祉士協会員インテビュー調査への協力

法人単位資金収支計算書

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日 単位:円

Table with 4 columns: 科目, 平成30年度, 平成31年度, 増減. Rows include 出費収入, 寄付金収入, 経常収益等補助金収入, etc.

社会福祉法人 八尾南郷社会福祉協議会

法人単位事業活動計算書

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日 単位:円

Table with 4 columns: 科目, 平成30年度, 平成31年度, 増減. Rows include 光費収益, 賃料収益, 経常収益等補助金収益, etc.

社会福祉法人 八尾南郷社会福祉協議会



法人単位貸借対照表

平成31年3月31日現在

単位:円

Table with 4 columns: 資産, 負債, 純資産. Rows include 流動資産, 固定資産, 負債, etc.

社会福祉法人 八尾南郷社会福祉協議会

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。



## 令和元年度集いの広場 ～「障害者生け花教室」受講生募集のお知らせ～



目的

本会では「障害者生け花教室」を開催し、季節の花を楽しみながら生け花を体験することで、感性が豊かになり心身のバランスも取れ、受講生同士交流を深めながら社会参加の促進に寄与することを目的とし本教室を開催する。

開催期間：令和元年10月9日(水)～令和元年11月27日(水) 14:00～16:00 (毎週水曜日 全8回)

場 所：八重瀬町字東風平1318-1 八重瀬町社会福祉会館2階 (ボランティア室)

講 師：花の店 k.おーきっと 神谷みどり氏

対 象：町内に居住し、障がいのある方。※送迎は行っておりませんのでご了承ください。

定 員：15名

申込期日：9月30日(月) 17:00まで

申 込 先：社会福祉法人 八重瀬町社会福祉協議会

TEL：998-4000 FAX：998-8999 (担当：新垣・宮城)



### こころの相談

内容：精神保健福祉士による電話や来所相談  
対象：八重瀬町にお住まいの方

日時：毎週水曜日 午前10時～12時・午後1時～3時  
場所：八重瀬町社会福祉会館 (相談室)

#### こころや体の悩み

- ・気持ちが不安定
- ・お酒の問題
- ・眠れない
- ・家族の問題
- ・対人関係が上手くいかない

#### 生活に関する悩み

- ・就職や失業などによる悩み
- ・生活費や借金トラブルの悩み
- ・その他



お問い合わせ ☎098-998-8411



### 弁護士相談 (無料) (八重瀬町在住の方)

内容：弁護士が町民のさまざまな悩みをお聞きして、解決できるようサポートします。  
日時：毎月第2・第4水曜日 午後2時～午後4時 ※要予約 (1人30分)  
場所：八重瀬町社会福祉会館



お問い合わせ ☎098-998-4000

### 寄 付

ご芳惠誠にありがとうございます。この寄付金は、町内の福祉事業のため有効に活用させていただきます。紙面をかりて表心より厚くお礼申し上げます。

令和元年7月5日～令和元年8月27日

月 日	寄付者氏名 (敬称略)	住 所	金 額	備 考
7月5日	大 城 眞 子	字真志談	500,000	故夫 大城武雄様の香典返しとして
7月8日	全 城 長 榮	字世名城	50,000	100歳記念として
7月17日	福 地 健 一	字慈名城	50,000	故父 福地栄實様の香典返しとして
8月19日	伊 仲 美 恵子	字東風平	100,000	故夫 伊仲誠保様の香典返しとして
8月19日	平 田 ユ キ	字仲塚	50,000	故夫 平田正一様の香典返しとして
8月23日	神 里 シ ゲ	字友寄	50,000	故夫 神里信恒様の香典返しとして
8月27日	星 啓 子	字伊藤	50,000	第2回チャリティ歌謡ショー収益の一部として
	合 計		850,000	

単位：円

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。